

公益財団法人中山視覚福祉財団

事業報告

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

I 法人の概要

1. 設立年月日

法人の設立 平成 9年10月 1日

公益財団法人への組織変更 平成22年11月 1日

2. 定款に定める目的

視覚障がい者の社会参加活動等に対する支援のための事業並びに視覚障がい者支援団体の活動支援等の事業を通じて、兵庫県内の視覚障がい者の福祉向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1)視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業
- (2)視覚障がいを有する大学生等に対する奨学金の給付事業
- (3)視覚障がい者支援団体の活動に対する助成事業
- (4)視覚障がい者支援団体に対する施設等の貸与事業
- (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 監督機関に関する事項

兵庫県知事

5. 主たる事務所

兵庫県神戸市兵庫区水木通2丁目1番9号

6. 役員等に関する事項

(1)理事及び監事 (令和4年4月1日現在)(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤	担当職務・現職
理 事 長	中山 哲也	非常勤	トラスコ中山株式会社 代表取締役社長
専務理事	中山 沙織	非常勤	株式会社NRホールディングス 代表取締役 公認会計士
常務理事	松前 篤志	常 勤	業務全般
理 事	井内 卓嗣	非常勤	アズワン株式会社 代表取締役社長
理 事	大塚 達也	非常勤	アース製薬株式会社 取締役会長
理 事	後藤 甲平	非常勤	三甲株式会社 会長
理 事	橋本 照夫	非常勤	社会福祉法人日本ライトハウス 理事長
理 事	古橋 健士	非常勤	ホシデン株式会社 代表取締役社長
理 事	森 雅彦	非常勤	DMG森精機株式会社 取締役社長
理 事	山本 直之	非常勤	山本光学株式会社 代表取締役社長
監 事	野村 公平	非常勤	弁護士事務所野村総合法律事務所 代表弁護士
監 事	和田 頼知	非常勤	和田公認会計士事務所 公認会計士

(2) 評議員

役 職	氏 名	常勤・非常勤	担当職務・現職
評議員	更家 悠介	非常勤	サラヤ株式会社 代表取締役社長
評議員	高松 富博	非常勤	元ダイドーグループホールディングス株式会社 取締役会長
評議員	中山 優子	非常勤	株式会社NSホールディングス 代表取締役
評議員	中山 梨絵	非常勤	川崎市立川崎病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医師 副医長
評議員	西村 元延	非常勤	株式会社マンダム 代表取締役会長
評議員	能村 祐己	非常勤	TSP太陽株式会社 代表取締役社長
評議員	葉田 順治	非常勤	エレコム株式会社 代表取締役会長
評議員	疋田 直太郎	非常勤	コーナン商事株式会社 代表取締役社長
評議員	山田 邦雄	非常勤	ロート製薬株式会社 代表取締役会長
評議員	山本 芳彰	非常勤	株式会社OMこうべ 監査役
評議員	脇田 貞二	非常勤	株式会社ワキタ 代表取締役社長

II. 事業の状況

1. 公益目的事業部門

公益事業1 中山記念会館の施設貸与事業

令和3年(2021年)10月13日までは旧中山記念会館、10月14日から新中山記念会館を障がい者支援団体及び盲ろう者支援団体に無償貸与しています。施設内で、NPO法人神戸アイライト協会、点訳ボランティアグループ連絡会、NPO法人兵庫盲ろう者友の会、(一社)作業所夢ふうせん、(社福)兵庫盲導犬協会、兵庫県朗読ボランティア連絡会、(一社)神戸市視覚障害者福祉協会の入居7団体、ひょうご伴走歩協会、NPO神戸アイフレンド、兵庫県網膜色素変性症協会、えいえすぶい神戸、ホットポットKOUBEの共同事務所利用支援5団体が、不特定多数の障がい者、盲ろう者等から相談を受け、トータルサポートを実施するべくお互いに連携して事業活動を実施しています。

中山記念会館では、兵庫県・神戸市他市町村からの委託の相談事業を始めとして、通所施設、歩行指導、パソコン指導並びに各種イベントが開催され、多くの視覚障がい者及び盲ろう者が参加する集いの場となっています。

	(単位:千円)	当年度費用	前年度費用	当年度予算
公益事業1		55,332	11,980	69,564
減価償却費		0	2,392	40,700
消耗品費(什器備品等)		31,138	0	47
租税公課		6,442	1,770	6,478
光熱水料費		4,666	1,257	6,316
支払利息		3,659	0	3,216
業務委託費		4,138	2,992	8,282
その他運営費(給料・役員報酬・法定福利費・雑費等)		5,289	3,569	4,525

公益事業2 視覚障がい者支援団体及び視覚障がい者個人に対する助成等の事業

視覚障がい者支援を目的として活動する団体に対する助成金供与及び大学、大学院等に進学する視覚に障がいがある学生に対する奨学金を支給しています。

		(単位:千円)	当年度費用	前年度費用	当年度予算
公益事業2	事業		10,573	11,810	12,790
公益事業2-1	助成金供与事業		6,621	6,568	8,025
公益事業2-2	奨学金の無償給付事業		960	2,110	1,440
その他運営費(給料・役員報酬・法定福利費・雑費等)			2,992	3,132	3,325

1. 公益事業2-1 助成金供与事業

視覚障がい者団体及び視覚障がい者支援団体並びに盲ろう者団体、ボランティア団体の活動を支援する為に、助成金を支給する事業を行っています。

(1) 視覚障がい者の社会参加活動の支援 助成額 5,244千円

ア 講演会、各種競技会に対する助成 助成額 524千円

社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会点字競技会、その他1団体 2事業

イ 社会参加支援活動を行う団体に対する助成 助成額 4,719千円

社会福祉法人兵庫盲導犬協会 その他18団体 21事業

(2) 視覚障がい者の視察、研修会への参加に対する支援 助成額 1,329千円

一般社団法人神戸市視覚障害者福祉協会各地区活動促進費 その他1団体 11事業

(3) 視覚障がい者のためのスポーツ活動に対する支援 助成額 48千円

一般社団法人神戸市視覚障害者福祉協会スポーツ部活動促進費 2事業

2. 公益事業2-2 奨学金の無償給付事業

視覚障がい者で向学心に燃える大学生等に月々3万円から6万円の奨学金を無償給付し、卒業まで学業に専念できる環境づくりのお手伝いをしています。

今事業年度は、大学生2名に対し 総額 960千円を給付しました。

公益事業3 視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業

障害のある人が障害のない人と同じように毎日を過ごし、共にいきいきと活動できる社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念の定着を目指し、視覚障がい者及び盲ろう者の社会参加活動に対する支援を行っています。

		(単位:千円)	当年度費用	前年度費用	当年度予算
公益事業3	事業		13,126	11,602	17,205
公益事業3-1	兵庫県視覚障がい者音楽祭事業 (中山・KLCコンサート)		0	143	2,500
公益事業3-2	盲導犬貸与事業		4,400	2,200	4,400
公益事業3-3	パソコン講座事業		3,375	3,483	3,562
公益事業3-4	音楽公演事業 (中山ワンダフルフェスタ)		0	42	0
公益事業3-5	同行援護従業者養成研修事業		2,111	2,133	2,178
公益事業3-6	バリアフリー映画上映事業 (中山UD映画祭)		0	0	1200
その他運営費(給料・役員報酬・法定福利費・雑費等)			3,240	3,601	3,365

1. 兵庫県視覚障がい者音楽祭事業

視覚に障がいがあるプロ、セミプロ、無名の演奏・声楽家等に飛躍の手伝いになればと思い、中山・KLCコンサートを開催しています。

今年度も、令和4年3月25日に神戸新聞松方ホールにて「中山・KLCコンサートVol.10」を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染の懸念から中止としました。

2. 盲導犬貸与事業

(社福)日本ライトハウスと(社福)兵庫盲導犬協会へ各1頭の盲導犬を育成委託し、兵庫県内のユーザーへ貸与しました。(盲導犬中山号 テネロ、スモの2頭)

平成11年より累計43頭の盲導犬中山号を貸与しています。

3. パソコン講座事業

パソコン講習会を下記のとおり実施しました。

コース・講座名	受講生	講習期間	開催回数
(1) 初級コース	4名	11/6-12/18	6回
(2) 初級コース(金曜開催)	4名	1/7-2/25	6回
(3) インターネットコース	5名	7/3-7/10	2回
(4) iPad体験コース	5名	7/24-7/31	2回
(5) iPad体験コース(金曜開催)	5名	3/4-3/11	2回
(6) オフィスコース	4名	6/19-6/26	2回
(7) オフィスコース	5名	8/7-8/21	2回
(8) 音声パソコン体験(金曜開催)	5名	12/10-12/17	2回
(9) 音声パソコン体験	5名	2/5-2/12	2回
(10) インターネット・サピエ	4名	1/8-1/29	3回
(11) ICT講座	来場23名 Zoom54名	3月18日	1回
(12) パソコンサポートボランティア勉強会	のべ18名	4/1-2/28	7回

4. 音楽公演事業

視覚に障がいがあると、コンサートに行きたくても外出するのを躊躇する方がおります。

そんな方々にも気がねなく、楽しく参加していただけるよう盲導犬や車いすでもご来場可能なコンサート「中山ワンダフルフェスタ」を年1回開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染の懸念から中止としました。

5. 同行援護従業者養成研修

兵庫県内のガイドヘルパー不足と質の向上を目的に、同行援護従業者養成研修を実施しています。

令和3年度の修了者数は、新型コロナウイルス感染の懸念から、研修の開催回数を減らし、受講生の募集人数も制限したことにより一般過程37名、応用課程12名でした。

研修・講座名	研修日数	開催回数	受講生
(1) 一般課程	4日間	3回	37名
(2) 応用課程	3日間	1回	12名
(3) 目の不自由な人への声のかけ方(介助)入門講習	1日	2回	7名
(4) 全盲の方の安全に歩くための白杖講座	1日	1回	3名
(5) ロービジョンの方の歩行講座	1日	1回	4名

6. バリアフリー映画上映事業

「中山UD映画祭」として、映画を観る機会の少ない視覚障がい者の皆様に喜んでいただくため、平成28年(2016年)から開催しています。

今年度も、委託開催も自主開催も新型コロナウイルスの感染の懸念から中止としました。

7. 収益事業

当年度の11月より収益事業を開始しました。

賃貸料収入は13,494千円と消費税の還付等が12,059千円ありました。

費用としては、減価償却費10,375千円と管理費が2,791千円あり、他会計振替額(収益事業から公益目的事業への利益の繰り入れ)は6,669千円、法人税は1,869千円、当期正味財産増減額(正味財産期末残高)は、3,848千円となりました。

(単位:千円)	当年度		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益(経常収益計)	25,553		
特定資産運用益(特定資産受取賃貸料他)	13,494		
雑収益(株券賃貸料・未収消費税等)	12,059		
(2)経常費用			
事業費	13,166		
[内訳]減価償却費	10,375		
その他(光熱水料費・租税公課・業務委託費等)	2,791		
管理費	0		
経常費用計	13,166		
当期経常増減額(評価損益等調整前当期経常増減額)	12,387		
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益計	0		
(2)経常外費用計	0		
他会計振替前当期正味財産増減額	12,387		
他会計振替額	-6,669		
税引前当期正味財産増減額	5,718		
法人税等	1,869		
当期正味財産増減額(正味財産期末残高)	3,848		

Ⅲ. 法人管理・運営に関する事項

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

	開催年月日	主な決議事項
第40回定時理事会	令和3年5月24日	・令和2年度の事業報告及び計算書類等の審議
		・現中山記念会館の売却の審議
		・(公財)中山視覚福祉財団に改称の審議
		・定款の変更の審議
第41回臨時理事会	令和3年6月11日	・基本財産である投資有価証券100万株を、 ・野村證券の株券等貸借取引を活用し資金運用を行う審議
第42回臨時理事会	令和3年9月10日	・移転に伴う主たる事務所の変更審議
第43回臨時理事会	令和3年11月17日	・中山記念会館5階にテナント企業として、トラスコ中山(株) 神戸支店・明石支店に入居いただきました。
第44回臨時理事会	令和4年3月2日	・第38回臨時評議員会招集の審議
第45回定時理事会	令和4年3月28日	・令和4年度の事業計画及び収支予算書の審議
		・理事及び監事並びに評議員候補者の推薦
		・公益保有株式の一部を法人会計に移管する件
		・就業規則の一部を改訂する審議

(2) 評議員会

	開催年月日	主な決議事項
第35回臨時評議員会	令和3年5月24日	・令和2年度の事業報告及び計算書類等の説明
第36回定時評議員会	令和3年6月15日	・令和2年度の事業報告及び計算書類等の審議
		・理事及び評議員の選任の審議
		・定款の変更の審議
第37回臨時評議員会	令和3年6月28日	・基本財産の投資有価証券を株券貸借取引で運用の審議
第38回臨時評議員会	令和4年3月28日	・令和4年度の事業計画及び収支予算書の報告

2. 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位 千円)

事業年度	平成30年 3月期	平成31年 3月期	令和元年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期
経常収益合計	88,845	85,218	81,768	50,261	178,882
経常費用合計	87,975	70,041	64,622	50,261	169,697
資産合計	11,694,786	13,489,198	10,679,495	14,596,705	14,580,682
負債合計	11,475	12,420	13,297	1,467,678	838,809
正味財産合計	11,383,798	11,683,311	13,476,778	10,666,198	13,741,874

3. 株式保有している場合の概要

企業株式の20%以下保有につき省略

4. 決算後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。

以上

事業報告の付属明細

事業の実施状況について補足すべき事項は該当ありません。